

# 教師としての基本姿勢について (体験実習)

令和2年12月9日 (水) 篠原校長

12月9日 (水) から3日間、中村学園大学の学生が2名、体験実習で本校に来ています。校長講話として、「教師としての基本姿勢、特別支援学校で大切にしていること」について話をしました。本校の笑顔の多い素直な子供達とたくさん関わって、有意義な体験実習にしてほしいと思っています。

**特別支援学校で大切にしていること**  
【安全・安心】【シンプル】【クリア】【ビジュアル】【シェア】

- ・子どもがどのように困っているか知っていますか？
- ・子どもに行動の見通しを持たせるためには・・・？
- ・手立て(何のために、何を)は、明確ですか？
- ・多くの教師の間で、共通理解はできていますか？

○子どものよさや、困っていることに周りが「**気付く**」こと

○困っていることの原因や将来の姿について「**予測する**」こと

○障害の特性を理解した上で「**適切な指導や支援**」を「**組織的に**」行うこと

自閉症児をはじめ、支援を必要とする子どもへの指導・支援の基本

**シンプル**      **クリア**      **ビジュアル**

「いつ」「何を」「どのように」「いつまで」「終わったら何をするのか」を具体的に示す

情緒の安定を図る構造化された教室環境の整備  
集中できる場づくり、リラックスできる場づくり、適切ななかかわり

**シンプル**      余分な刺激を減らし、伝えたい情報や指示だけに絞って示す

例 指示は大事なことに限定して示す  
言葉の指示は整理して伝える  
活動する場所には不要なものを置かない

**クリア**      活動の順序、方向、内容が明確になるように具体的に示す

例 事前に活動の内容や順番を示す  
スケジュールや手順はできるだけ固定化する  
何をすればいいのかを具体的に示す

× ちゃんとね  
○ プリントを3枚します  
× 廊下を走ってはいけません  
○ 廊下では歩きます  
禁止語を使わない  
何をするのか具体的に言う

**ビジュアル**      情報を視覚的に提示し、見て分かるようにする

例 活動の場所を分けて、一つの場所では一つの活動しか行わないようにする  
指示は文字や絵、図を使って説明する  
チェック表などを使ってすることを示す

誰もが活躍できる場をつくる(自己存在感)

子どもの得意なことをたくさん見つけてあげましょう

カブトムシは甲虫目ヨコガキ科に属し、日本では北海道から沖縄まで...

鯉 鱈 鱒 鱗 鰻 鰻 鱒 鱒 鱒 鱒

## 教師の喜び

- 子供と心を一にして、わかりあえたとき。
- 子供が学習に意欲的に取り組み、わかったとき、できるようになったとき。
- 子供が友達を思いやるなど、温かく優しい言動が見られたとき。

## 教師として、指導・支援の目指すもの

【配慮することによって、子供たちの良いところを引き出す】

- 自分は居て良い存在であるという思いをもたせる。
- 自分は価値がある、役に立っているという思いをもたせる。
- 自分は周囲から思われている、大事にされているという思いをもたせる。